情報通信ネットワーク第11回

理工学部情報科学科 松澤 智史

本日は・・・アプリケーション層

アプリケーション層

プレゼンテーション層

セッション層

トランスポート層

ネットワーク層

データリンク層

物理層

通信データ



アプリケーション層

トランスポート層

インターネット層

リンク層

本日のコンテンツ

- POP3
- IMAP (IMAP4)
- ・メールのマナー

復習: SMTP(Simple Mail Transfer Protocol)

メールの転送を行うプロトコル

• TCP25番ポートを使用²。

@以降の表記に該当する メールサーバへSMTPで メールを転送する

メールを転送する

SMTP

3 受け取ったメールを サーバに保存

1 設定されている メールサーバの TCP25番に接続し SMTPでメールを送る



Aさん A@ed.noda.tus.ac.jp

To: B@hogehoge.net From: A@ed.noda.tus.ac.jp Subject: Hello!

Hello! How are you?

A@ed.noda.tus.ac.jp

4 POP3でBさんの メールサーバの TCP110番に接続し、 Bさん宛の メールを受信する Bさん

B@hogehoge.net

テストアカウント

- ・メールサーバ mail.is.noda.tus.ac.jp
- ・ユーザID is_network
- ・パスワード 3is_network

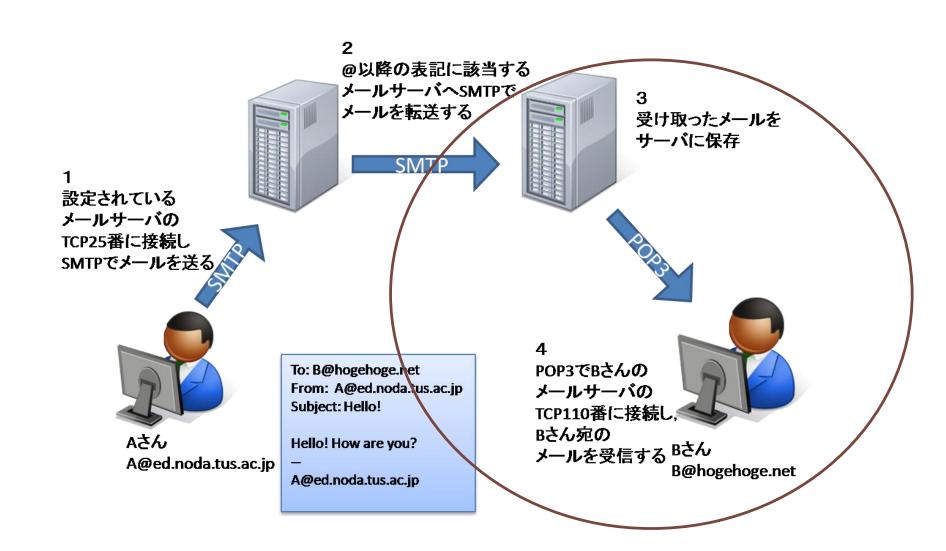
POP3(Post Office Protocol version3)

・メールをダウンロードするためのプロトコルの1つ

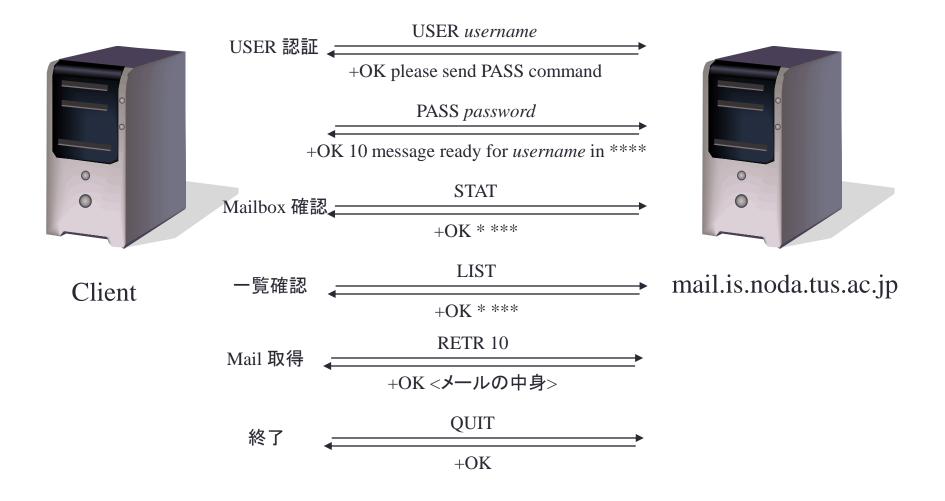
TCP 110番を使用する

SMTP同様テキストベースのコマンドで操作する

POP3



POP3



POP3 例 (telnet使用)

```
-matsu@X220Tablet ~ $ telnet mail.is.noda.tus.ac.jp 110
rying 133.31.103.19...
Connected to mail.is.noda.tus.ac.jp.
Escape character is '^]'.
+OK Dovecot ready.
USER t-matsu
+0K
+OK Logged in.
STAT
+OK 86719 650976741
```

POP3 例 (telnet使用)

```
retr 4664
+OK 1380 octets
Return-Path: <kgcoaling@ono.com>
X-Original-To: t-matsu@is.noda.tus.ac.jp
Delivered-To: t-matsu@is.noda.tus.ac.jp
Received: from 217.216.154.100.dyn.user.ono.com (217.216.154.100.dyn.user.ono.com
 [217.216.154.100])
        by mail.is.noda.tus.ac.jp (Postfix) with SMTP id 06DBC528101
        for <t-matsu@is.noda.tus.ac.jp>; Thu, 2 Aug 2007 21:32:42 +0900 (JST)
Message-ID: <000f01c7d511$f7c52040$06716f94@pc>
From: "Ramiro Foreman" <kgcoaling@ono.com>
To: "t-matsu" <t-matsu@is.noda.tus.ac.jp>
Subject: Keep all the girls really happy
Date: Thu, 2 Aug 2007 14:32:35 +0200
MIME-Version: 1.0
```

POP3 コマンド

- USER
- PASS
- STAT
- LIST
- RETR
- UIDL
- TOP
- DELE
- RSET
- NOOP
- QUIT

USER

• 書式: USER username

ログインユーザ名を送信する

• SMTPと違いユーザ認証がある

PASS

• 書式: PASS password

ログインユーザのパスワードを送る

USERとPASSでユーザ認証を行う

```
t-matsu@X220Tablet ~ $ telnet mail.is.noda.tus.ac.jp 110
Trying 133.31.103.19...
Connected to mail.is.noda.tus.ac.jp.
Escape character is '^]'.
+OK Dovecot ready.
user is_network
+OK
pass 3is_network
+OK Logged in.
list
+OK 1 messages:
1 955
.
```

STAT

· 書式: STAT

現在のメールボックスのステータス表示を行う

正常であればサーバから +OKメールボックスに保存されているメール数メール全体のサイズ が返答される

LIST

書式: LIST [メッセージ番号]

・メールボックス内メールの一覧表示を行う

• 引数が指定されている場合はそのメールの情報のみ表示する

RETR

書式: RETR メッセージ番号

・メールメッセージの取得(ダウンロード)を行う

• 引数に必ずメール番号を指定する

・RETRコマンドを利用してダウンロードしても メールは削除されない

UIDL

書式: UIDL [メッセージ番号]

• UIDL(Unique ID Listing)によるメール一覧の表示を行う

LISTで表示したメール番号はその接続のみ有効であるが、 UIDLはメール1通ごとに固定

TOP

書式: TOP メッセージ番号 行数

RETRコマンドと似ているが、指定する行数分のみボディ部の ダウンロードする ※ヘッダはすべてダウンロードする

行数を0にするとヘッダのみになるのでメール一覧のみ必要な場合によく用いられる

DELE

書式: DELE メッセージ番号

・ 指定したメッセージ番号のメールをメールボックスから削除する

NOOP

· 書式: NOOP

・ SMTPに存在するNOOPと同様で何もしないコマンド

QUIT

· 書式: QUIT

・接続を切断する

RSET

• 書式: RSET

これまで行われた処理のリセットを行う※ 主にDELEコマンドのリセット

ユーザ認証を行ったところまで戻る

POP3のパスワード問題の対策

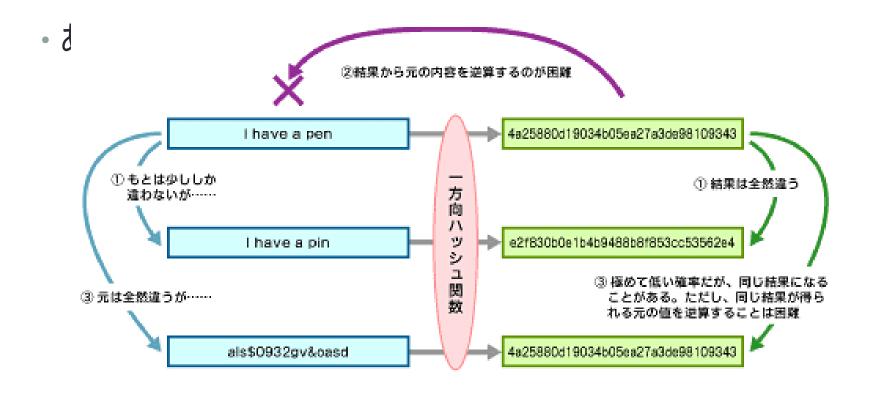
POP3はPASSコマンドでパスワードが平文で流れてしまうため 以下のような対策をしている

APOP

POP3s

APOP

・パスワードを暗号化(一方向ハッシュ関数を利用)して送信する ことによりパスワードの流出を防ぐことが可能になる

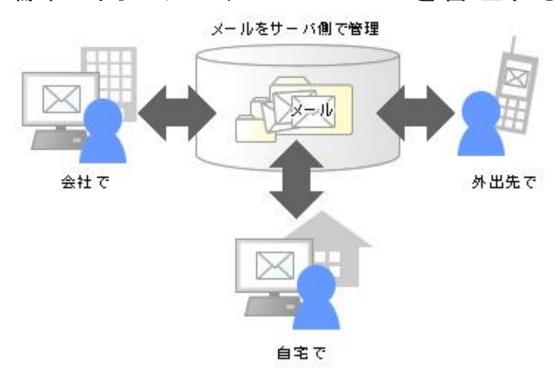


POP3s

- POP3に伝送路を暗号化するSSLを組み合わせたプロトコル
- ・APOPで対応できない本文の暗号化も行えるため POP3sの方が多く利用されている
- TCPのポート995番を使う

IMAP(Internet Message Access Protocol)

- TCP143番を使用 IMAP4とも呼ばれる
- ・メールをダウンロードせず,サーバから閲覧する
- サーバ上でメールを管理する
- 複数の端末で同一アカウントのメールを管理する場合に便利



IMAPの代表的なコマンド

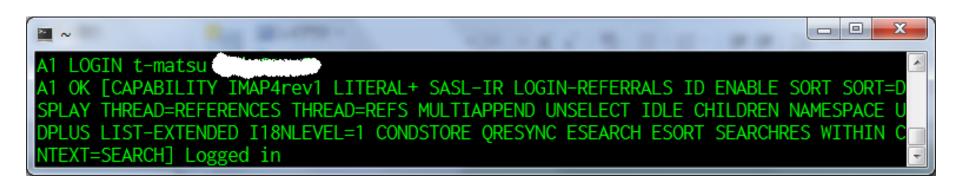
- LOGIN
- LOGOUT
- AUTHENTICATE
- LIST
- SELECT
- FETCH
- CREATE
- DELETE

LOGIN

• 書式: LOGIN username password

ユーザ認証を行う

ユーザ認証前に行えるコマンドはこのLOGINと AUTHENTICATEのみ



LOGOUT

• 書式: LOGOUT

• ログアウトする

AUTHENTICATE

• 書式: AUTHENTICATE 認証方法名

・指定した認証方法でログイン動作を開始する 以降のログイン動作は認証方法により異なる

LIST

書式: LIST 参照位置 ワイルドカード

メールボックスの一覧を表示する

```
A2 LIST "" "%"

* LIST (\HasChildren) "." "Archives"

* LIST (\HasChildren) "." "INBOX"

* LIST (\HasNoChildren) "." "Drafts"

* LIST (\HasNoChildren) "." "Trash"

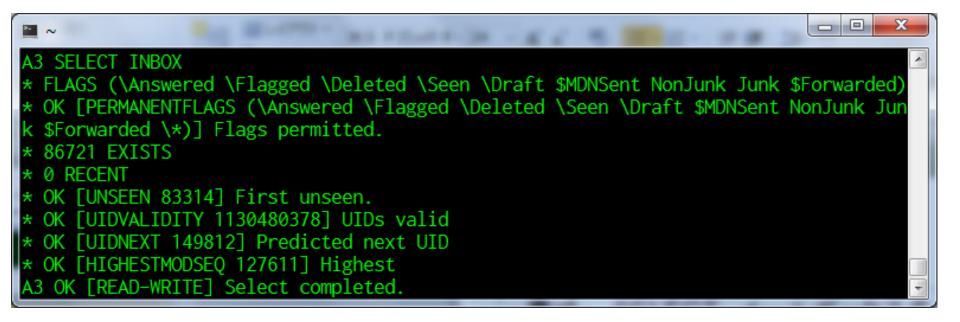
* LIST (\HasNoChildren) "." "Sent"

A2 OK List completed.
```

SELECT

書式: SELECT メールボックス名

・メールボックスを選択する以降のメール操作は、そのメールボックス内の操作となる



FETCH

- 書式: FETCH メッセージ番号 取得データ種類
- メールメッセージの取得を行う

```
~
A4 FETCH 32212 BODY[]
* 32212 FETCH (BODY[] {2500}
Return-Path: <drolly18031@ticketsoldout.com>
X-Original-To: t-matsu@is.noda.tus.ac.jp
Delivered-To: t-matsu@is.noda.tus.ac.jp
Received: from LGJXGGPAYX (unknown [60.219.255.213])
        by mail.is.noda.tus.ac.jp (Postfix) with ESMTP id 9A8AD528263;
        Sat, 14 Mar 2009 13:54:43 +0900 (JST)
Message-Id: <20090314045443.9A8AD528263@mail.is.noda.tus.ac.jp>
Date: Sat, 14 Mar 2009 13:54:43 +0900 (JST)
From: drolly18031@ticketsoldout.com
To: undisclosed-recipients:;
MAIL FROM: <orthodontistsck8@pelayoantiques.com>
RCPT TO: <yas@is.noda.sut.ac.jp>
  CPT TO: <tomizawa@is.noda.tus.ac.jp>
```

CREATE DELETE

- 書式: CREATE メールボックス名 DELETE メールボックス名
- ・ 指定したメールボックスを新規作成(または削除)する
- RENAME IE 新 で変更も可能

IMAPs

・POP3sと同様SSLを用いた暗号化通信を行う

TCPポート993番を使う

電子メールのマナーについて

- ・携帯電話の普及に伴い、電子メールをTwitterやLINEなどのコミュニケーションツールと同様に扱う人が増えた
- 電子メールは公の文書として残る可能性があるので、 ある程度のマナーを身につけるべき
- SMTP, IMAPなどの上位に位置する人間同士のプロトコル

学生がよくやるマナー違反?

- Subjectをつけない
- ・本文に宛名がない
- ・本文に差出人の名前がない
- ・引用したメールを無許可でCCやBCCで乗せられていない メールアドレスに送る

TO: CC: BCC:の違い

どれも送信先メールアドレスとして認識する

- TO
 - ・直接的な相手
- CC(Carbon Copy)
 - 副次的な相手を指定する
 - メールに目を通しておいて欲しい相手等
- BCC(Blind Carbon Copy)
 - CCと同様であるが、BCCで記載されたメールアドレスはヘッダに 記載されない

あまりやらない方がよいケース

- HTMLメールを送る
 - 相手がHTMLメールに対応していない可能性もある
- ・機種依存文字を使う
 - ・基本的に電子メールはJISコードを使用するため、半角カナや機種依存 文字を本文に入れない方が良い 相手が対応していない可能性がある

今回のまとめ

POP3

- ・メールのダウンロードのプロトコル
- 古いプロトコルであるため、セキュリティ等様々な問題がある
- ・ 近年では、APOPやPOP3sなど追加の技術と一緒に使用される

IMAP

- メールの閲覧プロトコル
- POP3と異なり、メールサーバ上でメール処理を行う
- 多数端末でメールを利用する際に便利なプロトコル
- サーバにメールを残すのでサーバのディスク容量が必要
- POP3同様IMAPsで通信路を暗号化することも可能

・マナー

- 宛名と差出人名と件名は基本的には載せること
- CCとBCCの使い方を覚えること

質問あればどうぞ

次回はアプリケーション層(つづき)!